

イザヤは
ずいぶん前に、
じょうじゅ
成就する
神様のみことばを
つた
伝えました



8月1日ーヤン・チョンオ、戦後初めて韓国に金メダル(1976年)、ベルリンオリンピック開幕(1936年)

ていこくのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

イザヤ1:1 アモツの子イザヤの幻。これは彼が、ユダとエルサレムについて、ユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代に見たものである。

- イザヤは、どんな人ですか(名前の意味 : 主の救い、主は偉大である)
 - B. C. 740年、ウジヤ王のとき、働きをはじめた偉大な預言者です
 - B. C. 722年、サマリヤがせめおとされたとき、ユダのそむきを警告した預言者です
 - 非難と救いを伝えた預言者です
- 神様のみことばを受ける三種類の人がいます
 - 成就するみことばを信じる人々は、時代を生かします
 - イザヤ
 - Remnant 7人
 - 成就したみことばだけを見る人たちもいます(使 11 : 1~18)
 - 成就したみことばもにぎることができない人もいます
 - アナニヤとサツピラ夫婦(使 5:1~11)
 - もんくを言う人たちは、かならず損をするようになります
- 福音にあって三つのことをかならず見つけるべきです
 - 今日のみことば
 - 今日の祈り
 - 今日の伝道



1. まことの福音を持つ者は三つのことを見ることができます

- (1) 未来を知らせる神様のみことばを見ます (イザヤ 6:1)
- (2) 正確な霊的な答えを見るようになります (イザヤ 6:2~8)
- (3) 伝道の祝福を見ることができます (イザヤ 6:13)

2. まことの福音を持つ者は落胆しません

- (1) バビロンの侵略の理由を知るようになります (イザヤ 6:12~13)
- (2) もっと深刻な問題が起きることを知っています (イザヤ 6:13)
- (3) しかし、もっと大きな答えの奥義を知っているために落胆しません (イザヤ 6:13)

3. まことの福音運動のためにまず知らなければならないことがあります

- (1) 未信者には福音だけを伝えなければなりません (イザヤ 7:14)
- (2) 霊的な問題を持つ信徒は、ただ福音だけを味わうようにさせなければなりません (イザヤ 7:14)
- (3) 福音を持つ使命者には、まことの使命を知らせなければなりません (イザヤ 7:14、6:13、60:1~22)

8月8日 - ウォーターゲイト事件でアメリカのニクソン大統領辞任 (1974年) /
東洋の真珠、舞踊家チェ・スンヒ死亡 (1969年)

ていごいの
定刻祈りに成功したらチェックしよう

イザヤ 6:1~13 そこにはなお、十分の一が残るが、それもまた、焼き払われる。テレビンの木や檜の木が切り倒される時のように。しかし、その中に切り株がある。聖なるすえこそ、その切り株。(13)

イザヤには
まずさきに
なりたっていることが
ありました

世界+福音化



ふくいん かいふく 福音の回復を どのようにしなければ なりませんか



8月15日 - 第二次世界大戦終戦 [1945年]、韓国、北朝鮮離散家族再会 (2000年)

定刻祈りに成功したらチェックしよう

イザヤ 7:14 それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。

1. 福音はことばだけ、文字だけではなく、いのちのある福音を伝えるべきです

- (1) いのちのある福音はいくつかのことが見えます
 - ① 原罪 (創 3:1~5) ② サタン (創 3:1~6)
 - ③ 滅び (創 3:16~20)
- (2) いのちのある福音は実際の救いを見ることができます (創 3:15)
- (3) レムナント 7 人のように、創 3 章 15 節の契約の中で、すべてを生かすことができます (イザヤ 60:1~22 経済、文化、政治)

2. いのちを失ったイスラエルの民は大きな苦しみにあいました

- (1) 奴隷でひっぱっていかれた解決策を見つけなければなりません (創 3:15、出 3:18)
- (2) 戦争にあっても勝利する力を受けなければなりません (I サムエル 3:1~18)
- (3) 捕虜になっても、唯一な答えがあります (イザヤ 7:14)

3. まことのイスラエルの福音運動を見せなければなりません

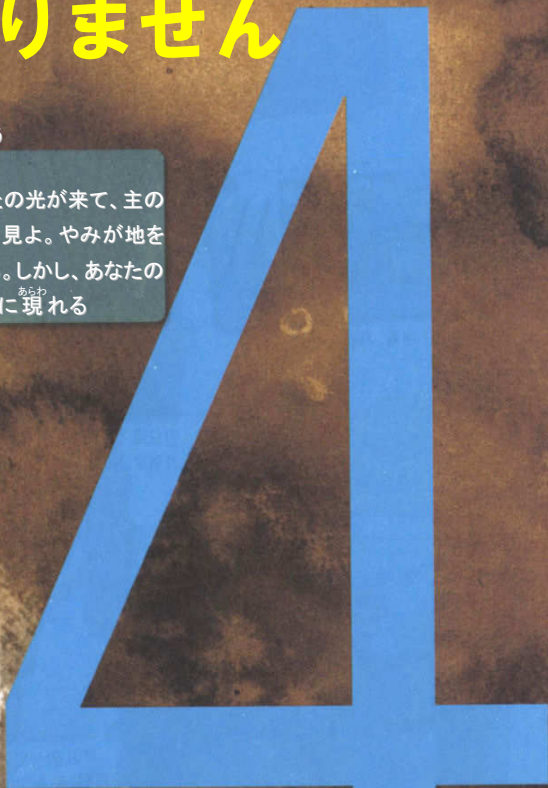
- ① 神様の力 ② 読書
- ③ 勉強 ④ 人間関係
- ⑤ 経済 ⑥ 文化 ⑦ 政治



光を味わうように しなければなりません

ていこくのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

イザヤ 60:1~2 起きよ。光を放て。あなたの光が来て、主の栄光があなたの上に輝いているからだ。見よ。やみが地をおおい、暗やみが諸国の民をおおっている。しかし、あなたの上には主が輝き、その栄光があなたの上に現れる



子どもが知るべきイザヤ書



1. 光を説明するより、実際に光を味わわなければなりません

- (1) 神様の恵みによってすでに光が来ています (イザヤ60:1~2)
- (2) 光を味わいながら起きなければなりません
- (3) 光を味わっていることを話さなければなりません

2. 光を味わっているときにしただがってくる結果があります

- (1) 光のぞめば、やみは自然と逃げていきます (イザヤ 60:1~2)
- (2) レムナントが起きて光に来るようになります (イザヤ 60:3~5)
- (3) すべての国と文化と経済が光に出てくるようになります (イザヤ 60:6~18)

3. 神様の働きは、このときからはじまります(イザヤ 60:20~22)

- (1) 小さな者が氏族となります (氏族)
- (2) 弱い者が強国となります (強国)
- (3) 時が来れば主がすみやかにそれをなさいます (主がなさる)

8月22日一日韓併合条約調印 (1910年)、これによって朝鮮王国は建国519年で幕を閉じました

定刻祈りに成功したらチェックしよう

イザヤ 62:1~12 エルサレムよ。わたしはあなたの城壁の上に見張り人を置いた。昼の間も、夜の間も、彼らは決して黙ってはいならない。主に覚えられている者たちよ。黙りこんではならない。主がエルサレムを堅く立て、この地でエルサレムを栄誉とされるまで、黙ってはいならない。(6~7)

1. 見張り人がしっかり立っていればよいのです

- (1) 昼も夜も福音の中で祈る見張り人 (イザヤ 62:6)
- (2) 24 時、主に覚えられている見張り人 (イザヤ 62:6)
- (3) 世の中に主にささげる賛美を回復させる者 (イザヤ 62:7)

2. 道を整えればよいのです

- (1) 城門を通らなければなりません (イザヤ 62:10)
- (2) 道を整える準備からしなければなりません (イザヤ 62:10)
- (3) 石を取りのぞけば、道を整えることができます (イザヤ 62:10)
- (4) 国々の民のために旗を掲げなければなりません (イザヤ 62:10)

しんぱい

ふしんこう

3. 正しい使命が中心にあれば神様がなさいます

- (1) すべての国を生せば、敵にならないようにできます (イザヤ 62:8)
- (2) 主をほめたたえることが結果です (イザヤ 62:9)
- (3) 地の果てまで救いが宣べ伝えられるようになります (イザヤ 62:11)
- (4) イスラエルが聖なる民である証拠を知らせなければなりません (イザヤ 62:12)

くにぐに たみ
国々の民が
見ることが
できるように
しなければ
なりません

おそれ

イライラ

おもい
わずらい